

2022 年度(令和 4 年度)

# 事業報告書

2023 年 5 月 30 日

学校法人 青淵学園

東都大学

# 目次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| I. 学校法人及び大学の概要                 | 1  |
| 1. 目的・建学の精神・教育の理念他             | 1  |
| (1) 学校法人の目的                    | 1  |
| (2) 建学の精神                      | 1  |
| (3) 大学の目的                      | 1  |
| (4) 大学の教育理念                    | 2  |
| (5) 各学部教育目標                    | 2  |
| (6) 各学部のディプロマ・ポリシー             | 3  |
| 2. 本学の学部及び学科並びに入学定員及び収容定員      | 5  |
| 3. 施設等所在地                      | 5  |
| 4. 法人及び大学の沿革                   | 5  |
| 5. 法人及び大学の組織図(2022 年 4 月)      | 7  |
| 6. 学生数(2022 年 5 月 1 日現在)       | 8  |
| 7. 役員等                         | 9  |
| (1) 理事及び監事(2022 年 5 月 1 日現在)   | 9  |
| (2) 評議員(2022 年 5 月 1 日現在)      | 9  |
| (3) 顧問                         | 9  |
| 8. 教職員数(2022 年 5 月 1 日現在)      | 9  |
| II. 2022 年度(令和 4 年度)事業の概要      | 10 |
| 1. 学校法人及び大学の管理・運営              | 10 |
| (1) 理事会・評議員会                   | 10 |
| (2) 運営会議・運営協議会                 | 10 |
| 2. 教育研究環境の整備                   | 10 |
| (1) 蘇我実習サポートセンター(仮称)の取得        | 10 |
| (2) 幕張キャンパス学生寮におけるインターネット環境の充実 | 11 |

|                                         |           |
|-----------------------------------------|-----------|
| (3) 図書の整備 .....                         | 11        |
| <b>3. 教育研究活動 .....</b>                  | <b>11</b> |
| (1) 教学運営体制の整備 .....                     | 11        |
| (2) 競争的研究資金の獲得 .....                    | 11        |
| (3) 埼玉工業大学との連携・協力に関する協定締結 .....         | 12        |
| <b>4. 地域連携 .....</b>                    | <b>12</b> |
| (1) 『公開講座』 .....                        | 13        |
| (2) 『地域への就職』 .....                      | 13        |
| (3) 『オレンジカフェ東都』 .....                   | 13        |
| (4) 『地域団体等との連携協定』 .....                 | 13        |
| (5) 『その他地域連携に関する活動』 .....               | 14        |
| <b>5. 入試広報 .....</b>                    | <b>14</b> |
| <b>6. 卒業・修了の状況 .....</b>                | <b>15</b> |
| <b>7. 国家試験対策の指導強化・充実 .....</b>          | <b>15</b> |
| <b>8. 学生支援 .....</b>                    | <b>17</b> |
| (1) 経済的支援の充実 .....                      | 17        |
| (2) チューター制度 .....                       | 17        |
| (3) オフィスアワー制度 .....                     | 17        |
| (4) キャリアガイダンス .....                     | 17        |
| (5) 特待生制度 .....                         | 17        |
| (6) オリエンテーション .....                     | 17        |
| (7) 補習(補充)授業 .....                      | 18        |
| <b>9. 主要委員会の活動 .....</b>                | <b>18</b> |
| (1) 学長の下に置かれる委員会 .....                  | 18        |
| (2) 教授会の下に置かれる委員会等 .....                | 20        |
| <b>III. 2022 年度(令和 4 年度)決算の概要 .....</b> | <b>22</b> |
| <b>1. 資金収支計算書について .....</b>             | <b>22</b> |

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 2. 事業活動収支計算書(資金収支計算書と共通の科目を除く。) | 23 |
| 3. 貸借対照表について                    | 24 |
| 4. 財務状況について                     | 25 |

# I. 学校法人及び大学の概要

## 1. 目的・建学の精神・教育の理念他

### (1) 学校法人の目的

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、健康で幸せな生活をより多くの国民が享受できる長寿社会を目指して、医療の現場で働く技術、志とともに優れた人材を育成することを目的とする（学校法人青淵学園 寄附行為第3条）。

### (2) 建学の精神

文明科学の進歩と共に、人間社会において何が基本的に大切なことであるか、常に考えねばならない。科学が進歩する程、ともすれば人間性が失われ、生命倫理が無視される危険性がある。

そこで社会生活を営む人にとって、その基本となるのは愛であることを強く認識せねばならない。人の命の尊厳を認識し、他の人の基本的権利を認め合うことである。大学の使命は、豊かな人間性と道德、倫理観を持ち、社会に貢献できる人間を育成することである。人間形成を重視し、広く教養豊かで生命の尊厳に基づく学問知識を習得し、さらに創造、発展させ、リーダーとなって社会的・国際的に貢献できる人を育てることを建学の精神とする。

### (3) 大学の目的

- ① 東都大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療に関する幅広い専門知識と技術を教授研究するとともに、人間性・倫理性・協調性を備えた人材を育成し、地域の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。
- ② ヒューマンケア学部は、教育基本法に則り、広く知識を授け人格の陶冶を図るとともに、深く専門の学術を教授・研究し、国際的視野に立って日本国の発展に貢献できる有為な人材を養成することを目的とする。
- ③ 幕張ヒューマンケア学部は、教育基本法に則り、広く知識を授け人格の陶冶を図るとともに、深く専門の学術を教授・研究し、国際的視野に立って日本国の発展に貢献できる有為な人材を養成することを目的とする。
- ④ 管理栄養学部は、教育基本法に則り、広く知識を授け人格の陶冶を図るとともに、「食」・「栄養」を通じて人々の健康や生活の質の向上を支援する専門の学術を教授・研究し、高い倫理観を有する人材を養成することを目的とする。
- ⑤ 沼津ヒューマンケア学部は、教育基本法に則り、広く知識を授け人格の陶冶を図るとともに、深く専門の学術を教授・研究し、国際的視野に立って日本国の発展に貢献できる有為な人材を養成することを目的とする。

（東都大学学則第1条）

#### (4) 大学の教育理念

本学は、生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解するとともに、学問的基礎の上に専門的な実践能力をもち、地域の保健・医療・福祉の担い手としてリーダーシップを発揮し、学問の発展にも貢献できる医療人を育成することを教育理念とする（東都医療大学設置認可申請書）。

#### (5) 各学部教育目標

【ヒューマンケア学部看護学科】【幕張ヒューマンケア学部看護学科】【沼津ヒューマンケア学部看護学科】

- ① 生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解できる豊かな人間性を涵養する。
- ② 看護学の基礎的な知識・技術・態度を修得し、ヒューマンケアの理念に基づいた実践ができる基礎的能力を育成する。
- ③ 保健・医療・福祉の重要な担い手としての役割を認識し、自己研鑽するとともに、リーダーシップを発揮できる基礎的能力を育成する。
- ④ 看護にかかわる諸問題を科学的に探求し、将来看護学の発展に貢献できる基礎的能力を育成する。

【管理栄養学部管理栄養学科】

- ① 生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解できる豊かな人間性を涵養する。
- ② 栄養学の基礎的な知識・技術・態度を修得し、高い倫理観・使命感に基づく実践能力を備える人材を育成する。
- ③ 保健・医療・福祉の重要な担い手としての役割を認識し、自己研鑽するとともに、リーダーシップを発揮できる基礎的能力を育成する。
- ④ 栄養にかかわる諸問題を科学的に探求し、将来栄養学の発展に貢献できる基礎的能力を育成する。

【幕張ヒューマンケア学部理学療法学科】

- ① 生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解できる豊かな人間性を涵養するために、すべての命あるものを大切にする心を育て、高い倫理観を涵養するとともに幅広い教養教育を通じて豊かな人間性を培う。
- ② 社会の一員として求められる基本的態度や考え方を身につけるとともに、人をとりまく文化と社会に関する知識と理解を有した人材を育成するために、自己管理能力、倫理感、市民としての社会的責任、人間や社会を理解するための知識を養う。
- ③ 理学療法学の基礎的な知識・技術・態度を修得し、ヒューマンケアの理念に基づいた実践ができる基礎的能力を持った人材を育成するために、人体の構造と機能および心身の理解、健康・疾病・障害の予防や回復過程に関する知識を臨床で発揮できる能力を養う。
- ④ 医療・保健・予防・福祉の重要な担い手として理学療法(士)の役割を認識し、自己研鑽に努めリーダーシップを発揮できる基礎的能力を持った人材を育成するために、理学療法の位置づけと役割についての正確な認識をもつ。チームの一員としての役割と医

療・保健・予防・福祉各分野との協同として理学療法を提供できる能力を育成する。

- ⑤ 医学・理学療法(学)に関わる諸問題を科学的に探究し、将来医学・理学療法(学)の発展に貢献できる能力を持った人材を育成するために、基礎医学分野にも視野を拡張、基礎医学と臨床医学の成果を基に、理学療法学に関する思考力と創造性、感受性を涵養し、理学療法を総合的に実践できる能力や、高度な専門性を有した理学療法士になる基礎を養う。

【幕張ヒューマンケア学部臨床工学科】

『豊かな人間性と確かな知識・技術をもち、人や社会に対して包括的にアプローチすることができ、医療・保健・予防・福祉の発展に寄与し、教育・研究により社会へ貢献することができる「医療機器の情報管理に強みをもつ臨床工学技士」』を育成する。

(6) 各学部のディプロマ・ポリシー

【ヒューマンケア学部看護学科】【幕張ヒューマンケア学部看護学科】【沼津ヒューマンケア学部看護学科】

本学の教育理念及び教育目標に基づき、本学では、所定の期間在学し、卒業要件を満たす所定の単位を修得し、かつ次に掲げる能力を身につけた学生に対し卒業を認定し、学士(看護学)の学位を授与する。

- ① 看護専門職としての倫理観を身につけ、生命および人を尊重する姿勢
- ・ 看護専門職として守るべき規範・原理・規則を身につけている
  - ・ 人間の生命を尊び、基本的権利を守る姿勢を持っている
  - ・ 倫理的な判断に基づいて行動できる
- ② ヒューマンケアの理念に基づき、保健・医療・福祉チームの一員として貢献できる能力
- ・ ヒューマンケアの意味と価値を理解している
  - ・ 看護の対象となる人々の健康維持・増進のために必要な専門知識・技能を主体的・継続的に学習できる
  - ・ 保健・医療・福祉の分野における看護の役割と機能を認識し、看護専門職としての力を発揮できる基礎的能力を有している
- ③ 看護および看護にかかわる広い領域の問題に対する探究心を持ち、この領域の発展に寄与できる能力
- ・ 医療・看護の現象を科学的に探求する基礎的能力を有している
  - ・ 根拠に基づいた、より質の高い看護実践を行うため、専門分野の応用を考えることができる
  - ・ 自ら問題を見出し、筋道を立てて解決できる。

【管理栄養学部管理栄養学科】

- ① 管理栄養士として必要な実践能力と使命感、および人々の尊厳と人権を擁護しうる高い倫理観を有する人材。

- ・常に管理栄養士として必要な知識、技術、態度およびそれらを表現することができる。

- ・倫理的な判断に基づいて行動することができる。

② チーム医療や地域の健康づくりの担い手として貢献できる能力を有する人材

- ・チーム医療における役割を認識し、疾病者の病態や栄養状況の特徴に基づいた適正な栄養管理を行うことができる。

- ・地域や職域などにおける保健・医療・福祉・介護などの現場で、適切な栄養関連サービスを総合的にマネジメントすることができる。

③ 栄養、および栄養にかかわる広い領域の問題に対する探究心を持ち、この領域の発展に寄与できる能力を有する人材

- ・栄養にかかわる現象を探究することができる。

- ・広い視野を持ち、専門職として常に自ら学ぶことができる。

【幕張ヒューマンケア学部理学療法学科】

① 社会の規範やルールに従って行動し、社会の一員として責任ある行動ができる。

② 習得した人体の器官別の形態や機能および主要な疾患の成因・病態・診断・治療を理解し、健康や疾病、障害に関する観察力を持つ。

③ 習得した理学療法の知識・技術をもとに、身体の機能や障害、疾病の状態を総合的に評価・説明できる。

④ 習得した理学療法の知識・技術をもとに、健康や障害に応じた理学療法を実施できる。

⑤ チーム医療の中で理学療法士と他職種の地位と役割を正確に理解し、そのチームのファシリテーター的な役割を積極的にはたすことができる。

⑥ 理学療法学の学問体系や内容を理解し、よく内観し、最新の知識や技術を常に学び続ける知的好奇心や向学心を持ち続け探求する。

【幕張ヒューマンケア学部臨床工学科】

① ヒューマンケアの理念を理解・実践し、社会の規範やルールに則り、社会の一員として責任ある行動ができる。

② 自然科学の理解と広い知識をもつ。

③ 人体の器官別の形態や機能及び主要疾患の成因・病態・診断・治療を理解し、健康や疾病、障害に関する観察力を持つ。

④ 工学と情報学の基礎知識・技能をもとに医療機器の管理運用、さらには開発に貢献できる技能を身につける。

⑤ 臨床工学の知識・技能をもとに、生命維持管理装置や医療機器を患者の安心安全に心がけ、責任をもって操作できる。

⑥ 臨床工学の知識・技能をもとに生命維持管理装置や医療機器の保守・点検・管理を行うことができる。

⑦ 臨床工学と医療情報の知識・技能をもとに医療用 IoT 機器の情報セキュリティの確保について他業種、他職種間と協働することができる。

⑧ チーム医療の中で臨床工学技士と他職種の地位と役割を理解し、チームのファシリテ

一ター的な役割を積極的に果たすことができる。

- ⑨ 臨床工学の学問体系や内容を理解し、積極的に最新の技術や情報を取り入れることのできる知的好奇心や向上心を持つ。

## 2. 本学の学部及び学科並びに入学定員及び収容定員

| 学部        | 学科   | 入学定員（人） | 収容定員（人） |
|-----------|------|---------|---------|
| ヒューマンケア   | 看護   | 100     | 400     |
| 幕張ヒューマンケア | 看護   | 120     | 480     |
|           | 理学療法 | 80      | 320     |
|           | 臨床工学 | 40      | 160     |
| 管理栄養      | 管理栄養 | 80      | 320     |
| 沼津ヒューマンケア | 看護   | 100     | 400     |
| 合計        |      | 520     | 2,080   |

## 3. 施設等所在地

深谷キャンパス

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 4-2-11

幕張キャンパス 1号館

〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野 1-1

幕張キャンパス 2号館

〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデン E 棟

沼津キャンパス

〒410-0032 静岡県沼津市日の出町 1-1

実習サポートセンター

〒136-0072 東京都江東区大島 6-8-24 新大島マンション

実習サポート宿舎

〒120-0003 東京都足立区東和 4-7-3 関東マンション

## 4. 法人及び大学の沿革

平成 20（2008）年 4 月…学校法人青淵学園及び東都医療大学設置認可申請

平成 20（2008）年 10 月…東都医療大学ヒューマンケア学部設置認可

平成 21（2009）年 4 月…第 1 回入学式挙行（ヒューマンケア学部看護学科 106 名）

平成 25（2013）年 3 月…第 1 回学位記授与式挙行

平成 27（2015）年 11 月…日本高等教育評価機構の認証評価受審

平成 28（2016）年 3 月…日本高等教育評価機構における認証評価において  
「大学評価基準に適合」の認定

平成 30（2018）年 4 月…幕張ヒューマンケア学部看護学科、  
管理栄養学部管理栄養学科開設

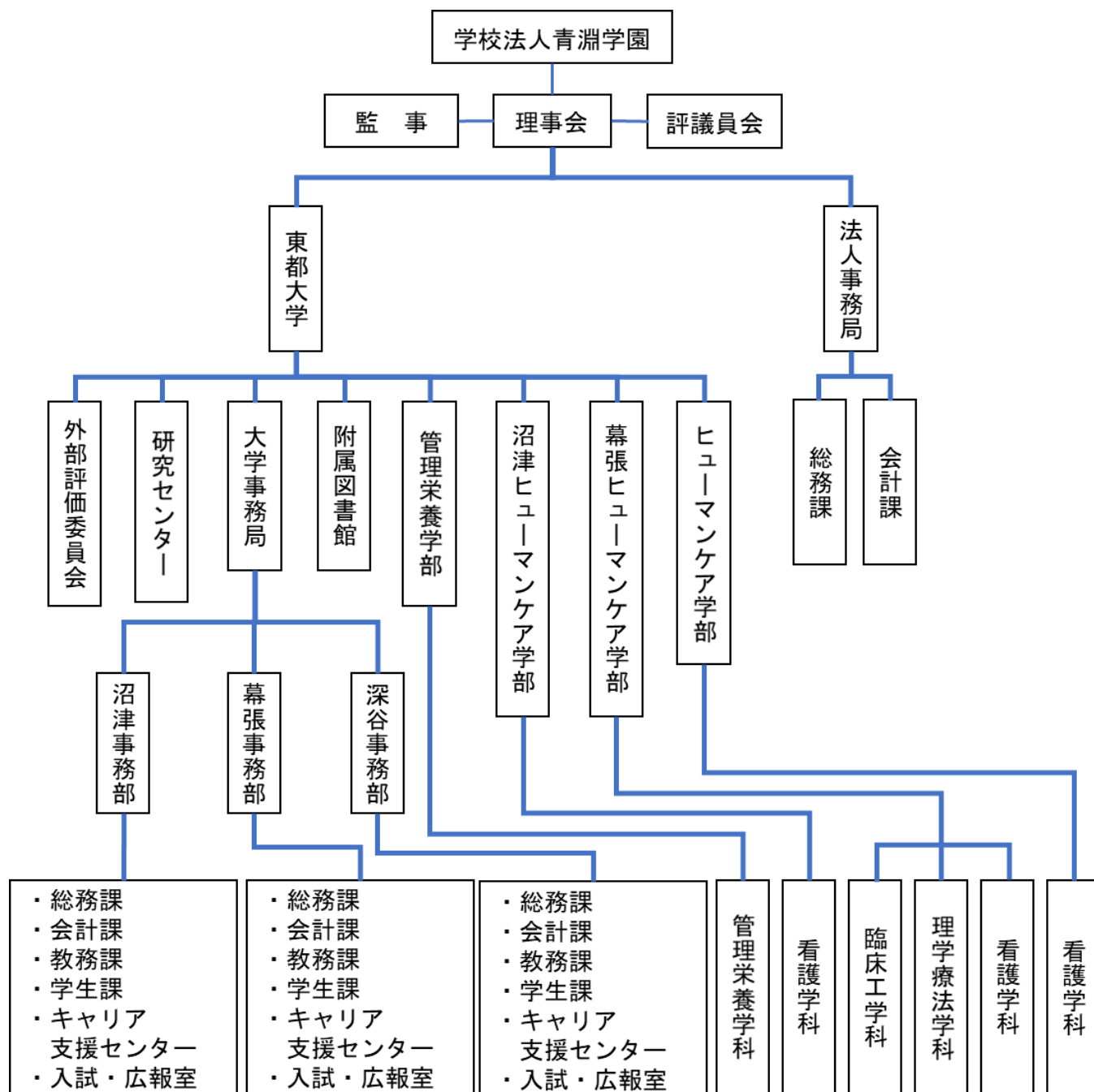
平成 31（2019）年 4 月…校名を「東都大学」に変更  
幕張ヒューマンケア学部理学療法学科開設

令和 3（2021）年 4 月…幕張ヒューマンケア学部臨床工学科、  
沼津ヒューマンケア学部看護学科開設

令和 4（2022）年 2 月…埼玉工業大学との連携・協力に関する協定書の締結

令和 5（2023）年 3 月…日本高等教育評価機構における認証評価において  
「大学評価基準に適合」の認定

5. 法人及び大学の組織図（2022 年 4 月）



6. 学生数（2022 年 5 月 1 日現在）

| 学部        | 学科   | 学年   | 定員(人) | 在籍(人) | 充足率  |
|-----------|------|------|-------|-------|------|
| ヒューマンケア   | 看護   | 1 年次 | 100   | 93    | 0.93 |
|           |      | 2 年次 | 100   | 103   | 1.03 |
|           |      | 3 年次 | 100   | 97    | 0.97 |
|           |      | 4 年次 | 100   | 116   | 1.16 |
|           |      | 学科計  | 400   | 409   | 1.02 |
|           | 学部計  |      | 400   | 409   | 1.02 |
| 幕張ヒューマンケア | 看護   | 1 年次 | 120   | 123   | 1.03 |
|           |      | 2 年次 | 120   | 122   | 1.02 |
|           |      | 3 年次 | 120   | 125   | 1.04 |
|           |      | 4 年次 | 120   | 163   | 1.36 |
|           |      | 学科計  | 480   | 533   | 1.11 |
|           | 理学療法 | 1 年次 | 80    | 97    | 1.21 |
|           |      | 2 年次 | 80    | 67    | 0.84 |
|           |      | 3 年次 | 80    | 63    | 0.79 |
|           |      | 4 年次 | 80    | 36    | 0.45 |
|           |      | 学科計  | 320   | 263   | 0.82 |
|           | 臨床工学 | 1 年次 | 40    | 25    | 0.63 |
|           |      | 2 年次 | 40    | 7     | 0.18 |
|           |      | 学科計  | 80    | 32    | 0.40 |
|           | 学部計  |      | 880   | 828   | 0.94 |
| 管理栄養      | 管理栄養 | 1 年次 | 80    | 42    | 0.53 |
|           |      | 2 年次 | 80    | 36    | 0.45 |
|           |      | 3 年次 | 80    | 48    | 0.60 |
|           |      | 4 年次 | 80    | 45    | 0.56 |
|           |      | 学科計  | 320   | 171   | 0.53 |
|           | 学部計  |      | 320   | 171   | 0.53 |
| 沼津ヒューマンケア | 看護   | 1 年次 | 100   | 83    | 0.83 |
|           |      | 2 年次 | 100   | 84    | 0.84 |
|           |      | 学科計  | 200   | 167   | 0.84 |
|           | 学部計  |      | 200   | 167   | 0.84 |
| 総 計       |      |      | 1,800 | 1,575 | 0.88 |

## 7. 役員等

### (1) 理事及び監事（2022年5月1日現在）

|        |       |    |        |
|--------|-------|----|--------|
| 理事 理事長 | 大坪 修  | 監事 | 増田 寛次郎 |
| 理事 学長  | 吉岡 俊正 | 監事 | 寺野 彰   |
| 理事     | 幕内 雅敏 |    |        |
| 理事     | 大坪 茂  |    |        |
| 理事     | 森 炎   |    |        |
| 理事     | 大嶋 利夫 |    |        |

### (2) 評議員（2022年5月1日現在）

|     |       |     |        |
|-----|-------|-----|--------|
| 評議員 | 大坪 修  | 評議員 | 白川 毅   |
| 評議員 | 吉岡 俊正 | 評議員 | 中條 俊夫  |
| 評議員 | 幕内 雅敏 | 評議員 | 富野 康日己 |
| 評議員 | 大坪 茂  | 評議員 | 堀内 孝   |
| 評議員 | 森 炎   | 評議員 | 今川 詢子  |
| 評議員 | 大嶋 利夫 | 評議員 | 角野 猛   |
| 評議員 | 大坪 公子 | 評議員 | 長谷部 康太 |

### (3) 顧問

遠藤 純一郎

## 8. 教職員数（2022年5月1日現在）

|      |     | 人数  |
|------|-----|-----|
| 専任教員 | 教授  | 48  |
|      | 准教授 | 22  |
|      | 講師  | 31  |
|      | 助教  | 21  |
|      | 計   | 122 |
| 専任助手 |     | 8   |
| 事務職員 |     | 32  |
| 合計   |     | 162 |

## II. 2022 年度（令和 4 年度）事業の概要

### 1. 学校法人及び大学の管理・運営

2015 年度の学校教育法の改正に伴い、本学では、学長が適切にリーダーシップを発揮し、全学的なマネジメントを行うための体制を整備したが、これを適切に運営した。

特に、今般の新型コロナウイルス感染症を契機とし、感染拡大が顕著な首都圏に位置する本学では、2022 年度は遠隔授業を主体とする中で、一部対面授業を併せたハイブリッド方式による授業を展開した。このような環境下でも教職員は教育の質を担保し、対面授業と変わらない、若しくは対面授業以上の充実した魅力ある授業とすること、そして学生が在学期間を通して学び、卒業・修了させることに全力を尽くすとともに、学生の心情に十分寄り添うべく対応を行った。

また、学校法人内には、私立学校法により置かれる理事会と評議員会があり、さらに学内規程により置かれる運営会議と運営協議会があるが、それぞれ次のとおり開催した。

#### (1) 理事会・評議員会

理事会を 5 回、評議員会を 5 回開催した。

#### (2) 運営会議・運営協議会

法人の管理運営を適正かつ円滑に行うために理事長が必要と認めた事項について審議することを目的とした運営会議は、理事長、理事である学長、常勤の理事、法人事務局長などで構成され、規程どおり毎月 1 回程度開催した。

また、法人と大学との相互の意思疎通並びに連携を図ることを目的とした運営協議会は、理事長、学長、副学長、学部長、法人事務局長、大学事務局長などで構成され、規程を上回る毎月 2 回程度開催した。

さらに、理事長の下に置かれる委員会には、次の人事委員会、企画委員会及び将来構想検討委員会の 3 委員会があり、各委員会において、機能強化などの対応を進めた。

### 2. 教育研究環境の整備

#### (1) 蘇我実習サポートセンター（仮称）の取得

学生の利便性を図るため、自主学修及び臨地実習の際に拠点となる蘇我実習サポートセンター（仮称）の取得に向け、2023 年 3 月に所有者と譲渡に係る契約を締結した。

取得予定の蘇我実習サポートセンター（仮称）には、看護系実習室、講義室、図書室、ロッカー室などが備わっており、広域に渡る臨地実習の際の拠点となるだけでなく、千葉県南部に居住する学生等にとっては、幕張キャンパスまで来なくても自主学主で活用できるなど、教育研究環境の充実に向け整備を行っていく。

蘇我実習サポートセンター（仮称）概要

〒260-0842 千葉県千葉市中央区南町 1-8-1

敷地面積：1,999.86 m<sup>2</sup> 延床面積 3,972.31 m<sup>2</sup>（地上 4 階）

開設予定：2024 年 4 月

## (2) 幕張キャンパス学生寮におけるインターネット環境の充実

今般の新型コロナウイルス感染症を契機とし、感染拡大が顕著な首都圏に位置する本学では、2022 年度は遠隔授業を主体とする中で、一部対面授業を併せたハイブリッド方式による授業を展開したが、これまでの学生寮のインターネット環境では、時間帯によっては学生に十分な通信環境を提供することができていなかったため、2022 年度においては学生寮のインターネット環境を全面的に改修し、部屋にしながらスムーズに遠隔授業が受けられ、また時間を気にすることなく自主学習を行える安定した通信環境を提供できるようになった。

## (3) 図書の整備

東都大学附属図書館は、深谷キャンパスに開設して以降、幕張キャンパス・沼津キャンパスに各 1 施設を増設し、合計 3 施設となった。専門書を含めた蔵書数は、設立当初は 9,795 冊（2009 年 5 月 1 日）だったが、毎年専門分野別にも配慮しながら整備し、2023 年 3 月 31 日では 3 キャンパス合計で 64,369 冊の蔵書となった。

# 3. 教育研究活動

## (1) 教学運営体制の整備

教授方法の工夫・改善については、FD（ファカルティー・ディベロップメント）研修会の開催や学生への授業評価アンケートなどを通じて、引き続きその向上に努めた。

基礎学力の向上については、本学の建学の精神、教育理念、教育目標に基づく初年次教育及びリメディアル教育を引き続き実施、強化した。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大が顕著な首都圏に位置する本学では、その感染状況を注視しながら、遠隔授業と対面授業を併せたハイブリッド方式を主体とした授業を適宜展開し、コロナ禍においても対面による授業と同等の質とレベルを保った教育を実施した。

## (2) 競争的研究資金の獲得

2022 年度の文部科学省の「科学研究費助成事業」の本学の採択件数は、以下の通りであった。（数は研究代表者の課題、金額は当該年度に交付のあった直接経費の額を記載）

学外の競争的研究資金の獲得は、自らの研究を充実させるだけでなく、社会と接点を持ち、他者から評価を受ける数少ない機会でもあり、積極的な獲得に注力している。

今後も研究・紀要委員会を中心に学長のリーダーシップの下、研究活動の推進・活性化を図る中で競争的研究資金獲得を拡大していく。

外部資金（文部科学省科学研究費助成事業）獲得状況

（単位：件、円）

| 学部               | 学科   |    | 申請件数 |    | 採択件数 |    | 金額         |            |
|------------------|------|----|------|----|------|----|------------|------------|
| ヒューマンケア          | 看護   | 新規 | 1    | 1  | 0    | 0  | 0          | 0          |
|                  |      | 継続 | —    |    | 0    |    | 0          |            |
| 幕張<br>ヒューマンケア    | 看護   | 新規 | 6    | 6  | 1    | 5  | 1,000,000  | 4,300,000  |
|                  |      | 継続 | —    |    | 4    |    | 3,300,000  |            |
|                  | 理学療法 | 新規 | 3    | 3  | 1    | 6  | 200,000    | 3,400,000  |
|                  |      | 継続 | —    |    | 5    |    | 3,200,000  |            |
|                  | 臨床工学 | 新規 | 7    | 7  | 1    | 1  | 4,800,000  | 4,800,000  |
|                  |      | 継続 | —    |    | 0    |    | 0          |            |
| 管理栄養             | 管理栄養 | 新規 | 2    | 2  | 1    | 3  | 1,000,000  | 3,200,000  |
|                  |      | 継続 | —    |    | 2    |    | 2,200,000  |            |
| 沼津<br>ヒューマンケア    | 看護   | 新規 | 15   | 15 | 2    | 5  | 4,000,000  | 6,400,000  |
|                  |      | 継続 | —    |    | 3    |    | 2,400,000  |            |
| その他<br>(研究センター等) |      | 新規 | —    | —  | —    | —  | —          | —          |
|                  |      | 継続 | —    |    | —    |    | —          |            |
| 総計               |      | 新規 | 34   | 34 | 6    | 20 | 11,000,000 | 22,100,000 |
|                  |      | 継続 | —    |    | 14   |    | 11,100,000 |            |

(3) 埼玉工業大学との連携・協力に関する協定締結

本学及び埼玉工業大学が行う教育、研究等における人的・物的資源の相互活用その他連携協力を推進することにより、それぞれの活動の充実を図るとともに地域の発展等に寄与することを目的として、2022年2月に「埼玉工業大学と東都大学との連携・協力に関する協定書」を締結した。これに基づき、2024年4月より埼玉工業大学と教育研究分野で連携・協力した提携大学院をスタートさせるべくワーキンググループを組成。その中で教育研究分野の特色、所属教員及び研究内容等をまとめるとともに、両校の実務者会議を適宜開催し、意思疎通を図った。

なお、埼玉工業大学大学院工学研究科は、機械工学専攻、情報システム専攻、生命科学専攻の3専攻から構成され、本大学院は、その情報システム専攻の中に新しく「ヘルスケア科学教育研究分野」として開設、本学教員により教育・研究活動を行う予定である。

4. 地域連携

2022年度は新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、参加者や教職員の安全を確保するため感染防止対策を徹底した上で、適宜オンラインも活用するなど関係者との連携を継続し、以下の活動を行った。

(1) 『公開講座』

幕張キャンパス

2022 年 10 月 29 日 13:00～14:00（対面及び Web の同時開催）

講義テーマ

『在宅における医療機器のかしこい使い方～テクノロジーと友達になるコツ～』

沼津キャンパス

2022 年 11 月 19 日 10:30～11:30

講義テーマ

『老年期を健（けん）幸（こう）に生きる～転倒要望・認知症予防～』

(2) 『地域への就職』

2022 年 3 月 31 日時点で、ヒューマンケア学部看護学科の卒業生数は 99 名、その中で就職希望者数は 97 名、うち 97 名が内定した（内定率 100%）。管理栄養学部管理栄養学科の卒業生数は 34 名、その中で就職希望者数は 31 名、うち 29 名が内定した（内定率 93.5%）。

幕張ヒューマンケア学部看護学科の卒業生数は 136 名、その中で就職希望者数は 133 名、うち 133 名が内定した（内定率 100%）。2022 年度に 4 年目を迎えた幕張ヒューマンケア学部理学療法学科は初めて卒業生を輩出することとなり、卒業生は 29 名、その中で就職希望者数は 29 名、うち 23 名が内定した（内定率 79.3%）。深谷キャンパス卒業生の埼玉県内への内定は 67 件、隣接する 4 都県を含めると 121 件で就職希望者数の 92%となり当初からの教育目的を達成したものと判定した。

同様に、幕張キャンパス卒業生の千葉県内への内定は 72 件、隣接する 4 都県を含めると 141 件で全就職希望者数の 87%となり、深谷キャンパスと同じく当初からの教育目的を達成したものと判定した。

(3) 『オレンジカフェ東都』

新型コロナウイルス感染症の蔓延で中止していたが、2022 年度は 12 月より事前予約性定員 10 名にて再開し、12 月以降毎月第 2 木曜日に開催した。

(4) 『地域団体等との連携協定』

「埼玉県立深谷第一高等学校との高大連携に関する協定締結」

双方の教育機能について、交流・連携を通じて、高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学教育の求める学生像及び教育内容への理解を深め、かつ双方の教育機能の活性化を目的とする高大連携事業を実施していくことを目的として、2022 年 7 月に包括的な高大連携に関する協定「東都大学と深谷第一高等学校との高大連携に関する協定書」を締結した。

その教育連携事業の一環として、2023 年度より深谷第一高等学校が開講する学科選択科目「看護学（2 単位）」における担当教員を東都大学の教員が引き受け、看護医療系進路を希望する生徒の学習に対する目的意識や将来に対する意識の向上を図っていく。

「沼津市社会福祉協議会との連携協力に関する包括協定締結」

沼津市社会福祉協議会と本学が包括的な連携のもと、相互の資源を活用し、地域に

における健康と福祉の増進に資することを目的に、保健、福祉、健康・福祉教育の各分野、災害時、その他両者が必要を認める内容について定めた「沼津市社会福祉協議会と東都大学との連携協力に関する包括協定書」を締結した。

(5) 『その他地域連携に関する活動』

「オープンラボ」

幕張キャンパスでは、積極的に研究成果や活動を発信するため、2022 年度より「オープンラボ」を開催し、3 学科から 7 グループが展示を行い、満足度の高いオープンラボとなった。

「アリオ深谷健康 with 東都大学」

深谷キャンパスでは、隣接するアリオ深谷で管理栄養学科の教員と学生が株式会社タニタの体組成計を使用して、参加者のチェック表を元に開設・アドバイスをを行いました。

「藍のたねプロジェクト」

管理栄養学科では、NHK さいたま放送局が大河ドラマの主人公・渋沢栄一の生家である藍農家のロケ地で採れた藍の種を活用するために始めた「藍のたねプロジェクト」に参加し、深谷キャンパス内の一角に藍の種をまき、成長した藍の葉等から抽出された成分を分析するなど継続して研究を行っている。

「ふかや市民大学」

「ふかや市民大学」は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人とがつながり、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施されているもので、2022 年度は 3 回の講義を行った。

2022 年 8 月 20 日 10:00～12:00

講義テーマ『水と健康について考える』

2022 年 12 月 24 日 13:00～15:00

講義テーマ『がんと死生観』

2023 年 2 月 9 日 10:00～12:00

講義テーマ『新しい教育法～身近に使えるおとなの学習法～』

「ボランティア活動」

深谷キャンパスでは、深谷赤十字病院における集団ワクチン接種のボランティアに（4 月、5 月、10 月、11 月）計 11 日間参加した。

## 5. 入試広報

入学定員管理の厳格化と未だ続くコロナ禍の影響が加わり、入試に対する不安を感じた受験生の間で、総合型選抜や学校推薦型選抜など年内に早期に実施する入試で手堅く進学先を決めたいという安全志向が働いたことを主因に、2022 年度はこれまで入学定員未充足により広報活動を重点的に強化した管理栄養学科、臨床工学科、沼津ヒューマンケア学部看護学科に加え、これまで安定していたヒューマンケア学部看護学科、幕張ヒューマンケア学部看護学科、また、2021 年度は東京オリンピックにおいて

アスリートへの理学療法の報道が大きな話題となり、開設4年目に定員充足することができた理学療法学科においても、2022年度は充足には至らず、複数学部・学科となった2018年以降では初めて全学科において定員が充足できなかった。

18歳人口の減少に加え、成績上位層も含め、急激に年内入試へのシフト傾向が強くなり、総合型選抜や学校推薦型選抜で入学者確保を意識した高等学校の進路指導の変化に十分対応し切れなかったことも大きな要因と考える。

今後ステークホルダーである受験生や保護者の受験志向へのこだわりなどに合致した学びができるということが的確に伝わるよう広報を工夫するとともに、低学年から進学先の選択肢として本学への注目度が上がるよう様々な仕掛けを検討していきたい。

入学者数の推移（年度・人）

| 学 部       | 学 科  | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ヒューマンケア   | 看護   | 95   | 126  | 121  | 115  | 116  | 106  | 107  | 93   | 98   |
| 幕張ヒューマンケア | 看護   | —    | —    | —    | 117  | 160  | 136  | 125  | 123  | 119  |
|           | 理学療法 | —    | —    | —    | —    | 43   | 77   | 68   | 97   | 64   |
|           | 臨床工学 | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 8    | 25   | 19   |
| 管理栄養      | 管理栄養 | —    | —    | —    | 26   | 44   | 50   | 39   | 42   | 33   |
| 沼津ヒューマンケア | 看護   | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 88   | 83   | 88   |
| 総 計       |      | 95   | 126  | 121  | 258  | 363  | 369  | 435  | 463  | 421  |

## 6. 卒業・修了の状況

2022年度は、幕張ヒューマンケア学部理学療法学科において開設後初めての卒業生を輩出した。

2022年度卒業生数は以下のとおりであった。

|                 |   |      |
|-----------------|---|------|
| ヒューマンケア学部看護学科   | ： | 99名  |
| 管理栄養学部管理栄養学科    | ： | 34名  |
| 幕張ヒューマンケア学部看護学科 | ： | 136名 |
| 同 理学療法学科        | ： | 29名  |

## 7. 国家試験対策の指導強化・充実

国家試験の結果は、保健師については深谷看護学科及び幕張看護学科でそれぞれ100%の合格率であったが、看護師は新卒が深谷看護学科で10名、幕張看護学科で12名、助産師は1名が不合格となったことから、全国平均を下回り課題を残す結果となった。

また、管理栄養師については、新卒が10名不合格、2022年度に1期生が初めて国家試験を受験した幕張ヒューマンケア学部理学療法学科は9名不合格となり、こちらも全国平均を大きく下回った。

不合格者については、卒業後も大学側がフォローアップし、次年度以降の合格率に影響を与えないよう留意していく。

## 2022 年度国家試験の結果

### 第 112 回看護師国家試験

|         | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 合格率 (%) |
|---------|----------|----------|---------|
| 全 国     | 64,051   | 58,152   | 90.8    |
| (うち新卒者) | 58,911   | 56,276   | 95.5    |
| 深谷看護    | 102      | 89       | 87.3    |
| (うち新卒者) | 99       | 89       | 89.9    |
| 幕張看護    | 142      | 128      | 90.1    |
| (うち新卒者) | 136      | 124      | 91.2    |

### 第 109 回保健師国家試験

|             | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 合格率 (%) |
|-------------|----------|----------|---------|
| 全 国         | 8,085    | 7,579    | 93.7    |
| (うち新卒者)     | 7,477    | 7,235    | 96.8    |
| 深谷看護        | 20       | 20       | 100.0   |
| (うち新卒者)     | 19       | 19       | 100.0   |
| 幕張看護 (新卒のみ) | 15       | 15       | 100.0   |

### 第 106 回助産師国家試験

|             | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 合格率 (%) |
|-------------|----------|----------|---------|
| 全 国         | 2,067    | 1,977    | 95.6    |
| (うち新卒者)     | 2,055    | 1,971    | 95.9    |
| 深谷看護 (新卒のみ) | 4        | 3        | 75.0    |

### 第 37 回管理栄養士国家試験

|         | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 合格率 (%) |
|---------|----------|----------|---------|
| 全 国     | 10,816   | 8,371    | 77.4    |
| (うち新卒者) | 9,444    | 8,235    | 87.2    |
| 管理栄養学科  | 36       | 24       | 66.7    |
| (うち新卒者) | 34       | 24       | 70.6    |

### 第 58 回理学療法士国家試験

|               | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 合格率 (%) |
|---------------|----------|----------|---------|
| 全 国           | 12,948   | 11,312   | 87.4    |
| (うち新卒者)       | 10,824   | 10,272   | 94.9    |
| 理学療法学科 (新卒のみ) | 29       | 20       | 69.0    |

## 8. 学生支援

### (1) 経済的支援の充実

経済的な理由により修学が困難な学生に支援を図り、継続して学業に専念できる環境を提供することを目的とする本学独自の学校法人青淵学園奨学金は、2022 年度は 107 名が受給した。

日本学生支援機構の奨学金は 905 名が受給し、その内訳は第一種奨学金が 260 名、第二種奨学金 456 名、給付奨学金 189 名であった。(人数は延べ数)

なお、2020 年 4 月からはじまった高等教育の修学支援新制度は、主に低所得者を対象に高等教育の無償化を目指す制度であるが、本学も本制度の対象機関として認められており、2022 年度においては、178 名の学生に対し授業料等の減免を実施した。

### (2) チューター制度

専任教員が、学生に対し指導助言を行う制度で、教員 1 人当たり多くとも 20 人程度の学生を受け持った。チューターによる学生への指導助言の内容は、学習相談、学生生活、進路・就職、心身の健康、国家試験等全般にわたるものであり、特に 2021 年度からは新型コロナウイルス感染症の拡大から、入構を一部禁止するなど学生との接触機会が減少したこと、チャットやメール等での細やかな連絡を行った。引き続きこれまでと同じように実施し、改善すべきところがあれば改善していく。

### (3) オフィスアワー制度

学生が教員に対し、修学上の相談を研究室でできる制度であるが、特に 2021 年度からは新型コロナウイルス感染症の拡大・継続から、入構を一部禁止するなど学生が登校する機会が減少したこと、主にチャットやメール等での相談を実施した。

### (4) キャリアガイダンス

ヒューマンケア学部看護学科及び幕張ヒューマンケア学部看護学科、理学療法学科では、4 年生を対象とした病院説明会を対面にて実施した。また、2022 年 8 月には、新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止していた関連病院を中心とした病院見学バスツアーを実施し深谷キャンパスからは看護学科、管理栄養学科の学生、幕張キャンパスからは看護学科、理学療法学科の学生が参加した。またその他、「就職活動の進め方」、「就活スタートアップ講座」、「就活マナー講座」、「履歴書/ES 対策講座」、「面接対策講座」、「小論文対策講座」等をオンデマンドで配信した。

ヒューマンケア学部看護学科では、4 年生を対象としたものとして、履歴書作成指導、模擬面接、小論文指導、進路調査及び就職相談を実施した。

幕張キャンパスにおいては、学生面談室を用いて週に 1 日就職支援ナビゲーターが学生の ES や履歴書の添削、模擬面接、小論文の書き方の指導を行っている。

### (5) 特待生制度

前年度に引き続き、学業成績、人格共に優れた学生に対し、授業料の半額を免除し、学業を奨励する制度である成績優秀者育英制度ならびに特待生制度を実施した。

### (6) オリエンテーション

前期後期の最初に学年毎のオリエンテーションや臨地実習のオリエンテーションを行

い、学生の便宜を図った。

#### (7) 補習（補充）授業

定期試験等で学力不足と評価された者及び希望者について、正規の授業時間以外に必要な補習授業を行なった。

### 9. 主要委員会の活動

#### (1) 学長の下に置かれる委員会

##### ① 外部評価委員会

本学では、自己点検・評価に関する客観性・妥当性を担保し、教育研究水準の向上を図るため、学外有識者による評価を行うことを目的とした外部評価委員会を、2014 年度に設置した。

本委員会は、看護関係者、地域と密接な関係を持ち適切な意見を持つ者、大学関係者等で構成され、幅広い意見を提出していただき、必要な改善を図ってきた。2022 年度に関しては、日程の関係から 2023 年 4 月 18 日に開催し、本学が行う自己点検・評価結果の客観性及び妥当性に関する評価並びに学長が必要とする重要事項に関する評価を行い、適切な指導を受けた。

##### ② 国家試験対策委員会

国家試験対策は、国家試験の合格率が大学の評価に直接関わってくることもあり、その重要性から、大学全体の部会や委員会から 3 学部となった 2018 年度には、各学部の委員会としてそれぞれの国家試験に対応できる委員会に改めてきた。そして 2021 年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅での個人学習が中心になり、学生に不安や孤立感が見られたが、適宜、WEB の活用等により補習や国試に対する説明、個人面談を実施し、学生に現時点での状況把握を促し、学習意欲の低下を防ぐよう学修支援などの対応を実施した。継続的に受験者全員が合格できるよう、過去の問題を中心とした問題の分析を行うなど体系的で計画的な活動を行った。

##### ③ 倫審査委員会

2014 年に文部科学省・厚生労働省から出された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を踏まえて、必要な教育・研修を実施するとともに、各教員から提出された倫理審査申請書について、研究倫理規程に基づき、研究の倫理的妥当性及び科学的合理性に係る事項について、本委員会で適宜適切な審査を行っている。2022 年度は、大学全体で計 14 件の倫理審査および 3 キャンパス合同で 3 回の研修会（研究倫理・コンプライアンス・倫理審査委員対象）を実施した。また、学生への倫理教育の実施状況について、各学科のカリキュラムの中で実施していることを調査し、確認した。

##### ④ 図書館運営委員会

2018 年度の幕張キャンパス開設に伴う幕張分館の設置に続き、2021 年度の沼津キャンパス開設に伴う沼津分館を設置し、それぞれ運用を開始した。

図書館では、分館ごとに「図書館便り」を発行するとともに「学生選書ツアー」も企画したが、2022 年度は入構制限もあり、学生選書ツアーは中止となった。その企画を変更し

「私のおすすめ本」コンテストを企画し、ポスター・ポータルサイト等で案内し学生からの動画を募った。

また、深谷キャンパスの附属図書館においては、2022 年度よりラーニングコモンズを開設した。ラーニングコモンズについては、可動式の机や椅子、ホワイトボードを利用者が自由な発想で移動させ、さまざまなレイアウトに変更して利用できるようにした。今後も利用者の意見を取り入れながら、更なる充実を図り、学生および教職員に自学自習の場を提供していく。

#### ⑤ 自己点検・評価委員会

毎年、本学の自己点検・評価を実施するとともに、法令によって義務付けられている認証評価の受審への全学的な取り組み体制の中心となる委員会であり、2021 年度の自己点検・評価書作成に加え、2022 年度は、大学機関別認証評価の受審年度に当たるため、受審書類の作成を行い「大学評価基準に適合」と認定された。今後も認証評価の結果も踏まえて、自己点検評価書を作成し公表するなど適切に運営していく。

#### ⑥ 環境・安全衛生委員会

本委員会は、労働安全衛生法で設置を義務付けられている衛生委員会としての機能を中心に、環境問題や安全管理についても委員会として担当している。2022 年度は、新型コロナウイルス感染症予防に関して、学内へのアルコール製剤の配置、正しい換気や手洗いについての周知活動、コロナ禍での施設の使用方法の策定等を実施した。

#### ⑦ 地域連携委員会

2022 年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いたが、適宜関係者と連携を図り情報の共有と発信を行った。また、参加者や教職員の安全を確保するため、感染防止対策を徹底した上で、適宜オンラインも活用しながら徐々に対面で実施できる行事並びに 3 密を回避できるような企画への参加や情報の発信、ボランティア活動への協力を実施した。

#### ⑧ 学報編集委員会

2022 年度も、引続き学報「とうと」を年 2 回発行した。編集内容もオンライン授業の様子や一部学内での演習など構成を工夫した他、学部学科の増設に合わせたものとした。

#### ⑨ 研究センター運営委員会

研究センターの組織体制の整備を着実に進めた。

#### ⑩ 広報委員会

学部学科の増設、新キャンパスの開設などに合わせ、これまで以上に、大学知名度の向上対策、オープンキャンパスの改善、ホームページ・大学案内の刷新・学生募集のための幅広い広報活動に力を入れた。

#### ⑪ 物品調達委員会

2022 年度も教育・研究事業のために必要な物品及びサービスを調達する業務を適正に行うために審議検討を行った。

#### ⑫ 防火対策委員会

防火管理規程や危機管理マニュアルによる訓練を実施した。

#### ⑬ 教員組織検討委員会

望ましい教員組織の在り方、教員の採用及び補充計画及び将来構想を踏まえた教員の採用及び育成計画について検討した。

## (2) 教授会の下に置かれる委員会等

### ① 入学試験委員会

本学の入学試験を公正・円滑に行うとともに、質の高い学生を確保することを目的に入学試験の基本方針・実施計画の立案、学生募集に関する活動等幅広い運営を行った。

### ② 教務委員会

3 学部体制となった 2018 年度からは教育内容等の実情に合わせ、学部ごとの委員会を設置するなど、教育課程、学籍、成績評価、学生の教育指導、学生の臨地実習・臨床実習、その他教務に関する事項について円滑に運営を行なった。また、コロナ禍において、2022 年度の授業運営の実施および 2022 年度のカリキュラムが展開できるよう、Teams での遠隔授業、実験実習等の学内授業を整理し、各学年の入構日を明確にすることに加え、学業不振者についてはチューターと連携をとり学生の学習支援を行うなど教務関係の準備と実施を行った。

### ③ 学生委員会

3 学部体制となった 2018 年度からは実情に合わせ、学部ごとの委員会を設置するなど、チューター制度、生活支援体制、キャリア支援体制、卒業後の支援体制等について企画・運営した。2022 年度は新型コロナウイルス感染症予防のための入構禁止に伴う遠隔授業等に関わる学生への支援、感染症予防のためのフローチャート作成、チューター教員への協力依頼等の活動、学生に感染予防を促し、安全な環境での学修支援を行った。また幕張キャンパスでは、学生寮規定・学生寮施行規則・寮の手引き等の改定を行い、学生による自治を目指した体制の基盤を構築した。

### ④ 研究・紀要委員会

研究活動の活性化、研究環境の整備など研究基盤の強化に向けた活動した。2022 年度は、紀要雑誌への投稿を促し投稿数 10 題以上を目標としていたが、今年度は叶わなかった。特定研究費への応募数を促し、10 件以上を目標とし、今年度は 12 件の応募数となった。キャンパスごとで開催される学内研究発表会は各々で 10 演題以上を目標としていたが、深谷キャンパスにおいては下回った。研究推進事業については、引き続き議論を進めていく。また、研究推進事業では、全学的なヒューマンケア研究会を発足し、倫理審査申請に関する講座、研究のディスカッションを行い、協力体制の整備を進めた。さらに外部資金の獲得支援の成果として笹川財団の 1 件を取得した。そして次年度(2023 年度)に向けて原著論文の投稿支援と論文指導体制の確立を進めていく。

### ⑤ FD 委員会

学生による授業評価及び教員相互の授業参観、研修会などについてオンラインを活用しながら活動した。

2022 年 9 月には、教員の試験問題の作成力向上を図るため、全キャンパスの教員を対象に多肢選択型問題作成の講習会を 2 日間に渡って開催した。

### ⑥ ハラスメント対策委員会・ハラスメント防止学部委員会

3 学部体制となった 2018 年度からは実情に合わせ、学部ごとの委員会を設置し、ハラスメントの防止、解決等について検討してきたが、多様なハラスメント事案に対応するため規程を改定した。この改定によりハラスメント対策委員会が事案への迅速な対応を図るとともに、ハラスメント防止学部委員会においてはハラスメントの防止に関する研修・啓発に関することを行うこととした。また、各学科にハラスメント相談員を置き、ハラスメントに関する相談、苦情の解決等を図っており、それぞれ積極的に活動した。

### Ⅲ. 2022 年度（令和 4 年度）決算の概要

2022 年度の決算は、定員未充足の学科が複数あるものの、幕張ヒューマンケア学部臨床工学科と沼津ヒューマンケア学部看護学科（以下、「新学部等」という）の学年進行により、前年度よりも収支が改善し、法人全体として黒字化となっている。以下、決算の内容について詳細を説明する。

#### 1. 資金収支計算書について

##### (1) 収入の部

- ① 学生生徒等納付金は、学年進行により収容定員が増えたため、前年度比 300,893 千円増の 2,380,149 千円となっている。
- ② 寄付金収入は、受配者指定寄附制度を利用した特別寄付（大学の経常費）として 11,980 千円、その他個人および法人より計 21,400 千円のご寄付を頂戴し、合計 33,380 千円となっている。
- ③ 補助金収入のうち、国庫補助金収入は前年度比 100,138 千円増の 253,060 千円となったが、これは完成年度を迎えた幕張ヒューマンケア学部看護学科ならびに管理栄養学部管理栄養学科が私立学校等経常費補助金の対象となったことが主な要因である。その他、授業料等減免費交付金として、104,038 千円を交付されている。また、地方公共団体補助金は、静岡県のコロナ禍における学生への支援事業によるものである。
- ④ 付随事業収入のうち、補助活動収入は幕張の学生寮費であるが、学生数の増加により、前年度比 4,573 千円増の 47,240 千円となった。また、企業からの受託研究が 1 件あり、受託事業収入が 1,399 千円となった。
- ⑤ 雑収入は、退職者に伴う退職金財団交付金収入、科研費等の外部資金獲得による間接経費の収入、幕張テクノガーデンの光熱費等（2021 年度）の返還などにより、予算より 22,426 千円増の 39,202 千円となった。
- ⑥ 前受金収入については、全学科が定員未充足となったことや、授業料等減免の影響もあり、前年度比より 98,905 千円減の 494,145 千円となった。

##### (2) 支出の部

- ① 人件費は、職員増員および退職金支出の増加の影響もあり、前年度比 19,218 千円増の 1,510,543 千円となった。
- ② 教育研究経費について、全体として経費削減等により予算を大きく下回ってはいるが、前年比は 124,653 千円の増加となっている。コロナ禍による制限の緩和により全体的に増えている中、電気代等の高騰により光熱費が前年比 62,750 千円増、LED 化工事により修繕費が前年比 14,007 千円増、授業資料印刷の増加により雑費が前年比 5,180 千円増となっているところが、主な要因である。

- ③ 管理経費について、教育研究経費と同様に光熱費の高騰（前年比 13,713 千円増）があったことに加え、新学部等の開設前経費の支出等による過年度修正支出があったため、全体として前年度比 2,484 千円増となったが、そのほかの科目についてはおおむね例年通りの執行となっている。
- ④ 借入金の返済について、元本は返済計画どおり 165,000 千円を返済し、利息についても、概ね予算どおりの額となった。
- ⑤ 施設関係については、深谷キャンパスの研究棟アンテナ増設工事で 558 千円、管理栄養学部の空調機器の更新ならびに中庭通路の補修等で 12,875 千円、幕張キャンパスの学生用 Wi-Fi ならび学生寮の増床に伴う整備等で 15,095 千円、前年度分割した沼津キャンパスの講義室改修工事等で 14,270 千円の合計 42,799 千円を予算に基づき執行した。
- ⑥ 設備関係については、教育研究用機器備品として、沼津キャンパスの講義室改修に係る AV 設備 4,510 千円や学生用ロッカー 1,259 千円その他、研究費からの機器や PC の取得により、概ね予算通りの 20,512 千円を支出した。
- ⑦ 翌年度繰越支払資金は 698,483 千円となっており、前年度繰越支払資金 743,643 千円から△45,160 千円と減少しているが、これは現金 50,000 千円を定期預金に振り替えたことによるもので、現金の実際は 4,840 千円増である。

## 2. 事業活動収支計算書（資金収支計算書と共通の科目を除く。）

### (1) 教育活動収支の部

人件費について、新たに 26,348 千円を退職金の引当金として繰り入れをおこなった。退職者の引当金を差し引いた退職金は 3,545 千円となる。

教育研究経費および管理経費の内、減価償却額について、教育研究経費は、前年度比 2,501 千円減の 296,352 千円、管理経費は前年度比 262 千円増の 36,474 千円となり、ほぼ前年度と同水準の計上となった。

なお、徴収不能額には、学費未納により除籍となった学生の未収入金額として 800 千円を計上した。

教育活動収支は、教育活動収入 2,778,452 千円、教育活動支出 2,769,079 千円の収支差額 9,346 千円（前年度比 157,415 千円増）となり、学年進行等に伴い改善した。

### (2) 教育活動外収支の部

収入は受取利息・配当金の 10 千円、支出は借入金の利息の返済額 4,770 千円のみであり、借入金の返済が進んだ結果、教育活動外収支差額は前年度比 990 千円増の△4,760 千円となった。

### (3) 特別収支の部

収入は、外部研究費等にて購入した機器備品や図書の現物寄附 3,227 千円、沼津キャンパスモニュメントへの寄付金 3,000 千円、令和 3 年度の授業料減免の返還に伴う過年度修正額 450 千円の合計 6,677 千円となった。支出は、機器備品ならびに図書の除却のほか、前述の授業料返還ならびに新学部等の開設前経費の支払いによる過年度修正額 10,239 千円、合計 10,240 千円となり、特別収支差額は、△3,562 千円となった。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は 1,023 千円となり、新学部等の学年進行に伴い前年度比 222,543 千円増と大きく改善し、黒字に転じた。基本金組入額は、新たに取得した施設設備および借入金返済に伴う組み入れとして第 1 号基本金に 236,986 千円、第 4 号基本金への追加の組み入れはなかった。基本金を含めた当年度収支差額は、△235,963 千円、翌年度繰越収支差額は△2,290,688 千円となった。新学部等の設置に伴い赤字となっていた経常収支差額もようやく黒字に転じたが、引き続き、繰越収支差額の黒字化に向けて改善を図る必要がある。

## 3. 貸借対照表について

### (1) 資産の部

資産の部は、固定資産が減価償却等に伴い前年度比 204,248 千円減の 4,873,973 千円、流動資産は、前年度比 35,806 千円減の 729,270 千円、合計 5,603,244 千円となった。なお、令和 4 年度は定期預金へ 50,000 千円の預け入れを行い、その他の固定資産の長期性預金へ計上をしている。

### (2) 負債の部

負債の部は、固定負債は長期借入金や未払金の支払により前年度比 147,366 千円減の 849,475 千円、流動負債は主に前受金の減少により全体として 93,712 千円減の 803,133 千円、合計で前年度比 241,079 千円減の 1,652,609 千円となった。

### (3) 純資産の部

純資産の部は、固定資産の取得に伴う第 1 号基本金が 236,986 千円増、繰越収支差額が 235,963 千円減となり、合計で 1,023 千円増の 3,950,635 千円と微増した。

#### 4. 財務状況について

2022 度の本学の財務状況について、日本私立学校振興・共済事業団にて用いられている財務比率の経年の変化について、主な項目の分析を行った結果は、次のとおりである。

##### (1) 事業活動収支計算書関係比率

|              |                   |                                        |
|--------------|-------------------|----------------------------------------|
| ① 人件費比率      | 54.8% (前年比△ 8.0%) | [経常収入に占める人件費の割合]                       |
| ② 人件費依存率     | 64.0% (前年比△ 8.3%) | [学納金に占める人件費の割合]                        |
| ③ 教育研究経費比率   | 38.2% (前年比△ 1.0%) | [経常収入に占める教育研究経費の割合]                    |
| ④ 管理経費比率     | 6.6% (前年比△ 0.4%)  | [経常収入に占める管理経費の割合]                      |
| ⑤ 基本金組入率     | 8.5% (前年比△ 3.2%)  | [収入総額に占める基本金の組入状況]                     |
| ⑥ 事業活動収支差額比率 | 0.0% (前年比 9.3%)   | [基本金組入前の収入総額に占める<br>当年度収支差額の割合。高い値が良い] |

※[ ]内は、「今日の私学財政」の財務比率の解説を簡潔に示す。

(注) 以上の比較では、①②については、前年度より割合が下がり、適正な比率への改善がみられる。③④についてはほぼ前年度並みの水準となっている。⑤については、新学部等に係る固定資産の取得がほぼ済んでいるため減少している。⑥については、前年度より大きく改善したが、新学部等による学年進行により経常収入が増えたことが大きな要因である。

##### (2) 貸借対照表関係比率

|           |                    |                             |
|-----------|--------------------|-----------------------------|
| ① 純資産構成比率 | 70.5% (前年比 2.9%)   | [自己財源の充実度。高い値が良い]           |
| ② 固定比率    | 123.4% (前年比△ 5.2%) | [固定資産の純資産に対する割合。<br>低い値が良い] |
| ③ 流動比率    | 90.8% (前年比 5.5%)   | [短期的な支払能力の指標。高い値が良い]        |

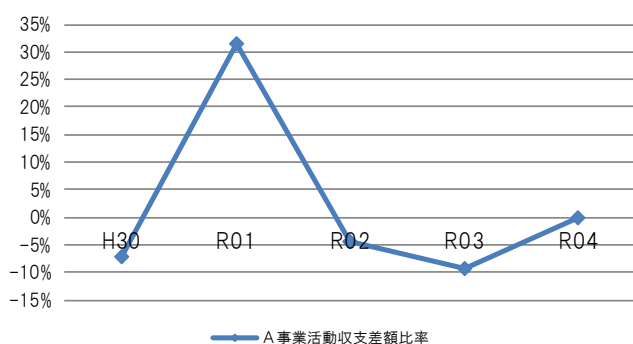
(注) 以上の比較では、各比率とも前年度より改善しており、新学部等の学年進行に伴う経営基盤の安定化が伺える。

(上記を含めた(1)ならびに(2)の比率および経年の変化については、次に記す。)

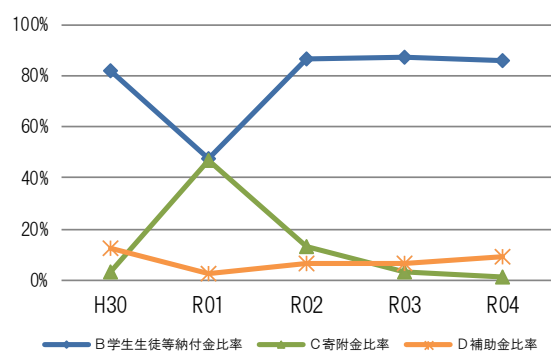
# ■ 事業活動収支計算書関係比率

| 比 率          | H30    | R01   | R02    | R03    | R04    |
|--------------|--------|-------|--------|--------|--------|
| A 事業活動収支差額比率 | -7.1%  | 31.3% | -4.4%  | -9.2%  | 0.0%   |
| B 学生生徒等納付金比率 | 82.0%  | 47.3% | 86.7%  | 86.9%  | 85.7%  |
| C 寄附金比率      | 3.4%   | 47.0% | 13.2%  | 3.1%   | 1.3%   |
| D 補助金比率      | 12.4%  | 2.8%  | 6.3%   | 6.4%   | 9.2%   |
| E 人件費比率      | 65.9%  | 39.7% | 63.5%  | 62.8%  | 54.8%  |
| F 教育研究経費比率   | 26.7%  | 22.8% | 43.1%  | 39.2%  | 38.2%  |
| G 管理経費比率     | 9.8%   | 4.5%  | 11.9%  | 7.1%   | 6.6%   |
| H 基本金組入率     | 2.0%   | 19.5% | 29.0%  | 11.7%  | 8.5%   |
| I 減価償却額比率    | 9.9%   | 14.1% | 12.6%  | 12.8%  | 12.0%  |
| J 人件費依存率     | 80.4%  | 83.9% | 73.2%  | 72.3%  | 64.0%  |
| K 基本金組入後収支比率 | 104.7% | 85.3% | 147.0% | 123.8% | 109.3% |

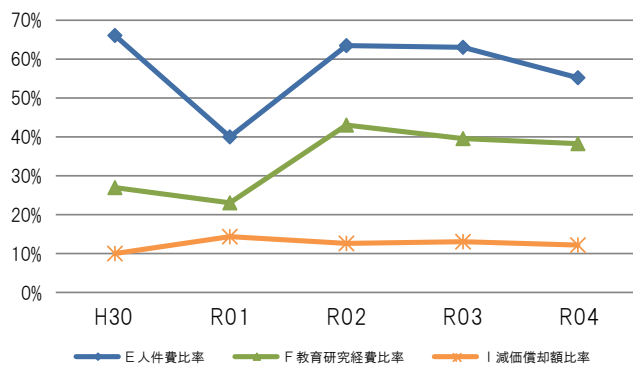
経営状況



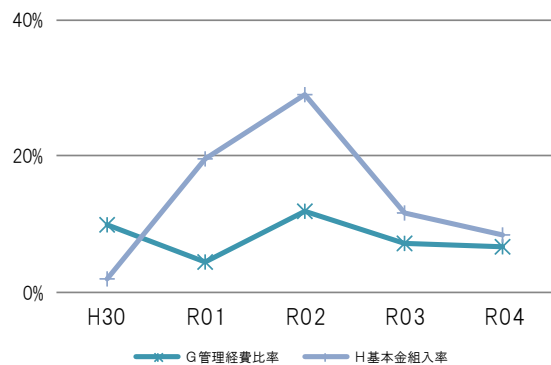
収入構成



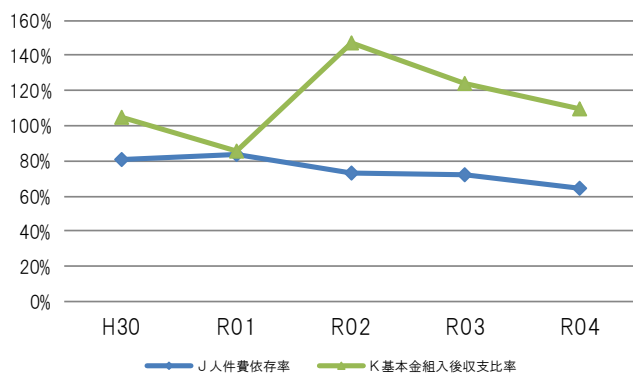
支出構成



支出構成



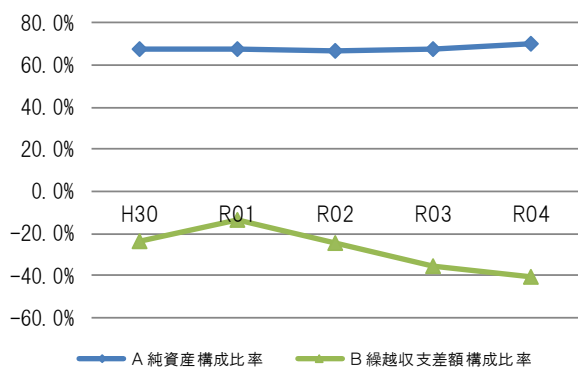
収支バランス



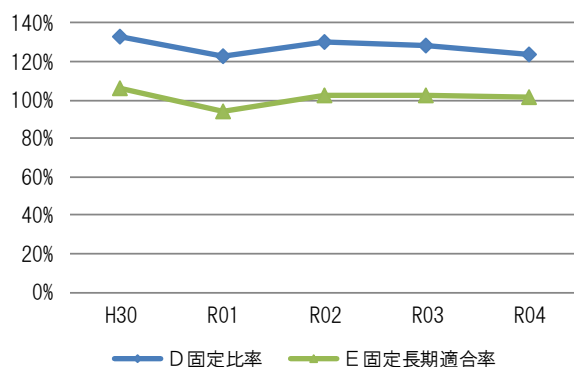
## ■ 貸借対照表関係比率

| 比 率          | H30    | R01    | R02    | R03    | R04    |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| A 純資産構成比率    | 67.8%  | 67.6%  | 66.9%  | 67.6%  | 70.5%  |
| B 繰越収支差額構成比率 | -23.4% | -13.3% | -24.9% | -35.2% | -40.9% |
| C 基本金比率      | 86.0%  | 80.9%  | 84.4%  | 87.5%  | 90.2%  |
| D 固定比率       | 132.7% | 122.8% | 130.2% | 128.6% | 123.4% |
| E 固定長期適合率    | 106.2% | 94.1%  | 102.1% | 102.7% | 101.5% |
| F 流動比率       | 65.8%  | 144.2% | 87.6%  | 85.3%  | 90.8%  |
| G 前受金保有率     | 101.6% | 226.6% | 136.8% | 131.1% | 141.4% |
| H 総負債比率      | 32.2%  | 32.4%  | 33.1%  | 32.4%  | 29.5%  |
| I 負債比率       | 47.6%  | 47.9%  | 49.4%  | 47.9%  | 41.8%  |

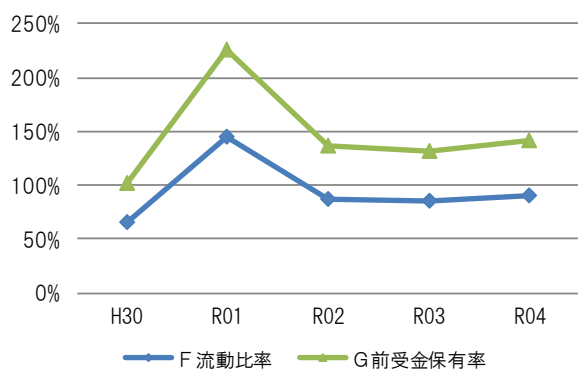
自己資金の充実度



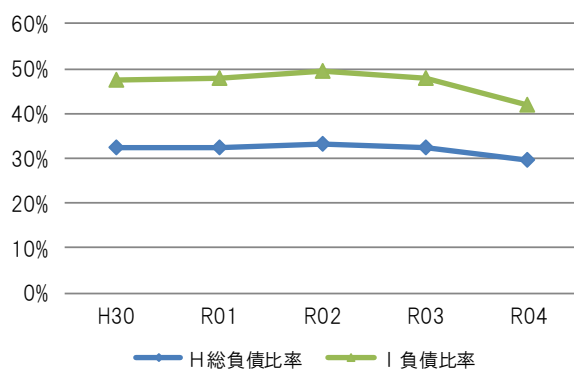
固定資産の長期資金の賄い



負債に備える資産蓄積度



負債の割合



# 資金収支計算書

令和4年 4月 1日から  
令和5年 3月31日まで

学校法人 青淵学園  
(単位 円)

| 収入の部           |                  |                  |                 |
|----------------|------------------|------------------|-----------------|
| 科 目            | 予 算              | 決 算              | 差 異             |
| 学生生徒等納付金収入     | ( 2,476,800,000) | ( 2,380,149,117) | ( 96,650,883)   |
| 授 業 料 収 入      | 1,431,000,000    | 1,363,099,667    | 67,900,333      |
| 入 学 金 収 入      | 128,000,000      | 122,000,000      | 6,000,000       |
| 実 験 実 習 料 収 入  | 299,900,000      | 291,132,783      | 8,767,217       |
| 施設 設備 資金 収 入   | 617,900,000      | 603,916,667      | 13,983,333      |
| 手数料収入          | ( 25,423,000)    | ( 24,305,900)    | ( 1,117,100)    |
| 入 学 検 定 料 収 入  | 18,850,000       | 17,890,000       | 960,000         |
| 試 験 料 収 入      | 5,997,000        | 5,638,000        | 359,000         |
| 証 明 手 数 料 収 入  | 576,000          | 777,900          | △ 201,900       |
| 寄付金収入          | ( 13,380,000)    | ( 33,380,000)    | (△ 20,000,000)  |
| 特 別 寄 付 金 収 入  | 6,980,000        | 15,380,000       | △ 8,400,000     |
| 一 般 寄 付 金 収 入  | 6,400,000        | 18,000,000       | △ 11,600,000    |
| 補助金収入          | ( 203,650,000)   | ( 256,199,420)   | (△ 52,549,420)  |
| 国 庫 補 助 金 収 入  | 203,650,000      | 253,060,500      | △ 49,410,500    |
| 地方公共団体補助金収入    | 0                | 3,138,920        | △ 3,138,920     |
| 資産売却収入         | ( 0)             | ( 0)             | ( 0)            |
| 付随事業・収益事業収入    | ( 50,680,000)    | ( 48,639,285)    | ( 2,040,715)    |
| 補 助 活 動 収 入    | 50,680,000       | 47,240,000       | 3,440,000       |
| 受 託 事 業 収 入    | 0                | 1,399,285        | △ 1,399,285     |
| 受取利息・配当金収入     | ( 15,500)        | ( 10,126)        | ( 5,374)        |
| その他の受取利息・配当金収入 | 15,500           | 10,126           | 5,374           |
| 雑収入            | ( 16,775,500)    | ( 39,202,330)    | (△ 22,426,830)  |
| 退職金財団交付金収 入    | 0                | 17,058,800       | △ 17,058,800    |
| そ の 他 の 雑 収 入  | 16,325,200       | 21,693,230       | △ 5,368,030     |
| 過 年 度 修 正 収 入  | 450,300          | 450,300          | 0               |
| 借入金等収入         | ( 0)             | ( 0)             | ( 0)            |
| 前受金収入          | ( 593,050,000)   | ( 494,145,000)   | ( 98,905,000)   |
| 授業料 前受金 収 入    | 283,950,000      | 229,450,000      | 54,500,000      |
| 入学金 前受金 収 入    | 129,000,000      | 111,750,000      | 17,250,000      |
| 実験実習料前受金収 入    | 58,250,000       | 49,650,000       | 8,600,000       |
| 施設設備資金前受金収入    | 120,350,000      | 100,150,000      | 20,200,000      |
| 入寮費 前受金 収 入    | 1,500,000        | 3,145,000        | △ 1,645,000     |
| その他の収入         | ( 0)             | ( 341,200,800)   | (△ 341,200,800) |
| 前期末未収入金 収 入    | 0                | 18,692,272       | △ 18,692,272    |
| 預 り 金 受 入 収 入  | 0                | 313,139,075      | △ 313,139,075   |
| 立 替 金 回 収 収 入  | 0                | 9,369,453        | △ 9,369,453     |
| 資金収入調整勘定       | (△ 593,050,000)  | (△ 591,819,410)  | (△ 1,230,590)   |
| 期 末 未 収 入 金    | 0                | △ 24,549,410     | 24,549,410      |
| 前期末 前受金        | △ 593,050,000    | △ 567,270,000    | △ 25,780,000    |
| 前年度繰越支払資金      | 743,643,857      | 743,643,857      |                 |
| 収入の部 合 計       | ( 3,530,367,857) | ( 3,769,056,425) | (△ 238,688,568) |

(単位 円)

| 支 出 の 部          |                  |                  |                |
|------------------|------------------|------------------|----------------|
| 科 目              | 予 算              | 決 算              | 差 異            |
| 人件費支出            | ( 1,479,240,710) | ( 1,510,543,466) | (△ 31,302,756) |
| 教員人件費支出          | 1,268,936,392    | 1,298,411,601    | △ 29,475,209   |
| 職員人件費支出          | 200,617,318      | 194,666,469      | 5,950,849      |
| 役員報酬支出           | 9,687,000        | 330,096          | 9,356,904      |
| 退職金支出            | 0                | 17,135,300       | △ 17,135,300   |
| 教育研究経費支出         | ( 887,053,537)   | ( 764,285,896)   | ( 122,767,641) |
| 消耗品費支出           | 77,113,200       | 47,008,868       | 30,104,332     |
| 光熱水費支出           | 163,650,000      | 176,906,405      | △ 13,256,405   |
| 旅費交通費支出          | 14,025,460       | 8,030,452        | 5,995,008      |
| 奨学費支出            | 188,380,400      | 165,158,499      | 23,221,901     |
| 通信運搬費支出          | 17,274,900       | 10,832,565       | 6,442,335      |
| 保健衛生費支出          | 39,195,800       | 28,904,483       | 10,291,317     |
| 印刷製本費支出          | 14,201,265       | 9,590,509        | 4,610,756      |
| 新聞雑誌費支出          | 24,940,500       | 18,784,092       | 6,156,408      |
| 修繕費支出            | 52,558,000       | 44,613,416       | 7,944,584      |
| 損害保険料支出          | 5,341,500        | 4,953,140        | 388,360        |
| 賃借料支出            | 31,976,460       | 29,760,266       | 2,216,194      |
| 諸会費支出            | 12,895,500       | 10,601,319       | 2,294,181      |
| 会議費支出            | 580,500          | 52,475           | 528,025        |
| 実験実習費支出          | 48,394,000       | 27,246,130       | 21,147,870     |
| 報酬・委託・手数料支出      | 170,936,852      | 158,704,456      | 12,232,396     |
| 学生諸費支出           | 621,000          | 519,390          | 101,610        |
| 行事費支出            | 9,298,200        | 7,823,263        | 1,474,937      |
| 雑費支出             | 15,620,000       | 14,796,168       | 823,832        |
| 管理経費支出           | ( 184,835,718)   | ( 158,103,908)   | ( 26,731,810)  |
| 消耗品費支出           | 7,198,388        | 7,475,772        | △ 277,384      |
| 光熱水費支出           | 33,505,000       | 31,761,396       | 1,743,604      |
| 旅費交通費支出          | 6,940,000        | 5,505,935        | 1,434,065      |
| 車両燃料費支出          | 570,000          | 277,231          | 292,769        |
| 福利費支出            | 410,000          | 0                | 410,000        |
| 通信運搬費支出          | 6,384,080        | 6,613,698        | △ 229,618      |
| 保健衛生費支出          | 4,795,150        | 3,995,258        | 799,892        |
| 印刷製本費支出          | 5,810,000        | 5,260,067        | 549,933        |
| 出版物費支出           | 180,000          | 8,468            | 171,532        |
| 修繕費支出            | 9,300,000        | 6,482,807        | 2,817,193      |
| 損害保険料支出          | 734,000          | 120,958          | 613,042        |
| 賃借料支出            | 1,546,000        | 900,982          | 645,018        |
| 公租公課支出           | 865,000          | 845,400          | 19,600         |
| 広報費支出            | 27,595,000       | 26,181,477       | 1,413,523      |
| 諸会費支出            | 330,000          | 68,478           | 261,522        |
| 慶弔慰労費支出          | 420,000          | 133,050          | 286,950        |
| 会議費支出            | 800,000          | 226,011          | 573,989        |
| 渉外費支出            | 1,726,000        | 757,055          | 968,945        |
| 報酬・委託・手数料支出      | 64,083,600       | 50,659,093       | 13,424,507     |
| 過年度修正支出          | 10,239,500       | 10,239,500       | 0              |
| 雑費支出             | 1,253,000        | 440,272          | 812,728        |
| 私立大学等経常費補助金返還金支出 | 151,000          | 151,000          | 0              |
| 借入金等利息支出         | ( 4,814,695)     | ( 4,770,364)     | ( 44,331)      |
| 借入金利息支出          | 4,814,695        | 4,770,364        | 44,331         |
| 借入金等返済支出         | ( 165,000,000)   | ( 165,000,000)   | ( 0)           |
| 借入金返済支出          | 165,000,000      | 165,000,000      | 0              |
| 施設関係支出           | ( 57,676,000)    | ( 42,930,162)    | ( 14,745,838)  |
| 建物支出             | 57,476,000       | 42,799,592       | 14,676,408     |
| 構築物支出            | 200,000          | 130,570          | 69,430         |

(単位 円)

| 科 目           | 予 算               | 決 算              | 差 異             |
|---------------|-------------------|------------------|-----------------|
| 設備関係支出        | ( 39,053,000)     | ( 32,421,085)    | ( 6,631,915)    |
| 教育研究用機器備品支出   | 21,672,000        | 20,512,179       | 1,159,821       |
| 管理用機器備品 支 出   | 3,000,000         | 1,131,955        | 1,868,045       |
| 図 書 支 出       | 14,381,000        | 10,776,951       | 3,604,049       |
| 資産運用支出        | ( 0)              | ( 0)             | ( 0)            |
| その他の支出        | ( 140,000,000)    | ( 496,144,571)   | (△ 356,144,571) |
| 前期末未払金支払 出    | 140,000,000       | 111,171,258      | 28,828,742      |
| 預 り 金 支 払 支 出 | 0                 | 321,102,231      | △ 321,102,231   |
| 前 払 金 支 払 支 出 | 0                 | 4,191,090        | △ 4,191,090     |
| 立 替 金 支 払 支 出 | 0                 | 9,179,992        | △ 9,179,992     |
| 仮 払 金 支 払 支 出 | 0                 | 500,000          | △ 500,000       |
| 長期性預金繰入 支 出   | 0                 | 50,000,000       | △ 50,000,000    |
| 〔予 備 費〕       | ( 0)<br>5,000,000 |                  | 5,000,000       |
| 資金支出調整勘定      | (△ 140,000,000)   | (△ 103,626,754)  | (△ 36,373,246)  |
| 期 末 未 払 金     | △ 140,000,000     | △ 103,421,164    | △ 36,578,836    |
| 前期末 前払金       | 0                 | △ 205,590        | 205,590         |
| 翌年度繰越支払資金     | 707,694,197       | 698,483,727      | 9,210,470       |
| 支出の部 合 計      | ( 3,530,367,857)  | ( 3,769,056,425) | (△ 238,688,568) |

# 事業活動収支計算書

令和4年 4月 1日から  
令和5年 3月31日まで

学校法人 青淵学園  
(単位 円)

|        | 事業活動収入の部 | 科 目        | 予 算              | 決 算              | 差 異            |
|--------|----------|------------|------------------|------------------|----------------|
|        |          |            |                  |                  |                |
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金   | ( 2,476,800,000) | ( 2,380,149,117) | ( 96,650,883)  |
|        |          | 授 業 料      | 1,431,000,000    | 1,363,099,667    | 67,900,333     |
|        |          | 入 学 金      | 128,000,000      | 122,000,000      | 6,000,000      |
|        |          | 実 験 実 習 料  | 299,900,000      | 291,132,783      | 8,767,217      |
|        |          | 施設 設備 資金   | 617,900,000      | 603,916,667      | 13,983,333     |
|        |          | 手数料        | ( 25,423,000)    | ( 24,305,900)    | ( 1,117,100)   |
|        |          | 入 学 検 定 料  | 18,850,000       | 17,890,000       | 960,000        |
|        |          | 試 験 料      | 5,997,000        | 5,638,000        | 359,000        |
|        |          | 証 明 手 数 料  | 576,000          | 777,900          | △ 201,900      |
|        |          | 寄付金        | ( 13,380,000)    | ( 30,380,000)    | (△ 17,000,000) |
|        |          | 特 別 寄 付 金  | 6,980,000        | 12,380,000       | △ 5,400,000    |
|        |          | 一 般 寄 付 金  | 6,400,000        | 18,000,000       | △ 11,600,000   |
|        |          | 経常費等補助金    | ( 203,650,000)   | ( 256,199,420)   | (△ 52,549,420) |
|        |          | 国 庫 補 助 金  | 203,650,000      | 253,060,500      | △ 49,410,500   |
|        |          | 地方公共団体補助金  | 0                | 3,138,920        | △ 3,138,920    |
|        |          | 付随事業収入     | ( 50,680,000)    | ( 48,639,285)    | ( 2,040,715)   |
|        |          | 補助 活動 収入   | 50,680,000       | 47,240,000       | 3,440,000      |
|        |          | 受託 事業 収入   | 0                | 1,399,285        | △ 1,399,285    |
|        |          | 雑収入        | ( 16,325,200)    | ( 38,752,030)    | (△ 22,426,830) |
|        |          | 退職金財団交付金収入 | 0                | 17,058,800       | △ 17,058,800   |
|        |          | その他の雑収入    | 16,325,200       | 21,693,230       | △ 5,368,030    |
|        |          | 教育活動収入計    | ( 2,786,258,200) | ( 2,778,425,752) | ( 7,832,448)   |
|        | 事業活動支出の部 | 科 目        | 予 算              | 決 算              | 差 異            |
|        |          | 人件費        | ( 1,479,240,710) | ( 1,523,302,241) | (△ 44,061,531) |
|        |          | 教 員 人 件 費  | 1,268,936,392    | 1,298,411,601    | △ 29,475,209   |
|        |          | 職 員 人 件 費  | 200,617,318      | 194,666,469      | 5,950,849      |
|        |          | 役 員 報 酬    | 9,687,000        | 330,096          | 9,356,904      |
|        |          | 退職給与引当金繰入額 | 0                | 26,348,775       | △ 26,348,775   |
|        |          | 退 職 金      | 0                | 3,545,300        | △ 3,545,300    |
|        |          | 教育研究経費     | ( 1,180,480,179) | ( 1,060,638,502) | ( 119,841,677) |
|        |          | 消 耗 品 費    | 77,113,200       | 47,008,868       | 30,104,332     |
|        |          | 光 熱 水 費    | 163,650,000      | 176,906,405      | △ 13,256,405   |
|        |          | 旅 費 交 通 費  | 14,025,460       | 8,030,452        | 5,995,008      |
|        |          | 奨 学 費      | 188,380,400      | 165,158,499      | 23,221,901     |
|        |          | 通 信 運 搬 費  | 17,274,900       | 10,832,565       | 6,442,335      |
|        |          | 保 健 衛 生 費  | 39,195,800       | 28,904,483       | 10,291,317     |
|        |          | 印 刷 製 本 費  | 14,201,265       | 9,590,509        | 4,610,756      |
|        |          | 新 聞 雑 誌 費  | 24,940,500       | 18,784,092       | 6,156,408      |
|        |          | 修 繕 費      | 52,558,000       | 44,613,416       | 7,944,584      |
|        |          | 損 害 保 険 料  | 5,341,500        | 4,953,140        | 388,360        |
|        |          | 賃 借 料      | 31,976,460       | 29,760,266       | 2,216,194      |
|        |          | 諸 会 費      | 12,895,500       | 10,601,319       | 2,294,181      |
|        |          | 会 議 費      | 580,500          | 52,475           | 528,025        |
|        |          | 実 験 実 習 費  | 48,394,000       | 27,246,130       | 21,147,870     |
|        |          | 報酬・委託・手数料  | 170,986,852      | 158,704,456      | 12,282,396     |
|        |          | 学 生 諸 費    | 621,000          | 519,390          | 101,610        |
|        |          | 行 事 費      | 9,298,200        | 7,823,263        | 1,474,937      |
|        |          | 減 価 償 却 額  | 293,426,642      | 296,352,606      | △ 2,925,964    |
|        |          | 雑 費        | 15,620,000       | 14,796,168       | 823,832        |
|        |          | 管理経費       | ( 212,471,636)   | ( 184,338,984)   | ( 28,132,652)  |
|        |          | 消 耗 品 費    | 7,198,388        | 7,475,772        | △ 277,384      |
|        |          | 光 熱 水 費    | 33,505,000       | 31,761,396       | 1,743,604      |
|        |          | 旅 費 交 通 費  | 6,940,000        | 5,505,935        | 1,434,065      |
|        |          | 車 両 燃 料 費  | 570,000          | 277,231          | 292,769        |
|        |          | 福 利 費      | 410,000          | 0                | 410,000        |
|        |          | 通 信 運 搬 費  | 6,384,080        | 6,613,698        | △ 229,618      |
|        |          | 保 健 衛 生 費  | 4,795,150        | 3,995,258        | 799,892        |
|        |          | 印 刷 製 本 費  | 5,810,000        | 5,260,067        | 549,933        |
|        |          | 出 版 物 費    | 180,000          | 8,468            | 171,532        |
|        |          | 修 繕 費      | 9,300,000        | 6,482,807        | 2,817,193      |

(単位 円)

| 教育活動収支        | 事業活動支出の部          | 科 目               | 予 算               | 決 算             | 差 異            |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|----------------|
|               |                   | 損 害 保 険 料         | 734,000           | 120,958         | 613,042        |
|               |                   | 賃 借 料             | 1,546,000         | 900,982         | 645,018        |
|               |                   | 公 租 公 課           | 865,000           | 845,400         | 19,600         |
|               |                   | 広 報 費             | 27,595,000        | 26,181,477      | 1,413,523      |
|               |                   | 諸 会 費             | 330,000           | 68,478          | 261,522        |
|               |                   | 慶 弔 慰 労 費         | 420,000           | 133,050         | 286,950        |
|               |                   | 会 議 費             | 800,000           | 226,011         | 573,989        |
|               |                   | 渉 外 費             | 1,726,000         | 757,055         | 968,945        |
|               |                   | 報酬・委託・手数料         | 64,083,600        | 50,659,093      | 13,424,507     |
|               |                   | 減 価 償 却 額         | 37,875,418        | 36,474,576      | 1,400,842      |
|               |                   | 雑 費               | 1,253,000         | 440,272         | 812,728        |
|               |                   | 私立大学等経常費補助金返還金    | 151,000           | 151,000         | 0              |
|               |                   | 徴収不能額等            | ( 0 )             | ( 800,000 )     | (△) 800,000    |
|               |                   | 徴 収 不 能 額         | 0                 | 800,000         | △ 800,000      |
| 教育活動支出計       | ( 2,872,192,525 ) | ( 2,769,079,727 ) | ( 103,112,798 )   |                 |                |
| 教育活動収支差額      | (△ 85,934,325)    | ( 9,346,025 )     | (△ 95,280,350)    |                 |                |
| 教育活動外収支       | 事業活動収入の部          | 科 目               | 予 算               | 決 算             | 差 異            |
|               |                   | 受取利息・配当金          | ( 15,500 )        | ( 10,126 )      | ( 5,374 )      |
|               |                   | その他の受取利息・配当金      | 15,500            | 10,126          | 5,374          |
|               |                   | その他の教育活動外収入       | ( 0 )             | ( 0 )           | ( 0 )          |
|               |                   |                   |                   |                 |                |
|               | 教育活動外収入計          | ( 15,500 )        | ( 10,126 )        | ( 5,374 )       |                |
|               | 事業活動支出の部          | 科 目               | 予 算               | 決 算             | 差 異            |
|               |                   | 借入金等利息            | ( 4,814,695 )     | ( 4,770,364 )   | ( 44,331 )     |
|               |                   | 借 入 金 利 息         | 4,814,695         | 4,770,364       | 44,331         |
|               |                   | その他の教育活動外支出       | ( 0 )             | ( 0 )           | ( 0 )          |
|               |                   |                   |                   |                 |                |
|               |                   | 教育活動外支出計          | ( 4,814,695 )     | ( 4,770,364 )   | ( 44,331 )     |
|               | 教育活動外収支差額         | (△ 4,799,195)     | (△ 4,760,238)     | (△ 38,957)      |                |
|               | 経常収支差額            |                   | (△ 90,733,520)    | ( 4,585,787 )   | (△ 95,319,307) |
|               | 特別収支              | 事業活動収入の部          | 科 目               | 予 算             | 決 算            |
| 資産売却差額        |                   |                   | ( 0 )             | ( 0 )           | ( 0 )          |
| その他の特別収入      |                   |                   | ( 450,300 )       | ( 6,677,847 )   | (△ 6,227,547)  |
| 施設設備寄付金       |                   |                   | 0                 | 3,000,000       | △ 3,000,000    |
| 現 物 寄 付       |                   |                   | 0                 | 3,227,547       | △ 3,227,547    |
| 過年度修正額        |                   |                   | 450,300           | 450,300         | 0              |
| 特別収入計         |                   | ( 450,300 )       | ( 6,677,847 )     | (△ 6,227,547)   |                |
| 事業活動支出の部      |                   | 科 目               | 予 算               | 決 算             | 差 異            |
|               |                   | 資産 処分 差額          | ( 0 )             | ( 592 )         | (△ 592)        |
|               |                   | 機器備品 処分 差額        | 0                 | 37              | △ 37           |
|               |                   | 図 書 処分 差額         | 0                 | 555             | △ 555          |
|               |                   | その他の特別支出          | ( 10,239,500 )    | ( 10,239,500 )  | ( 0 )          |
|               |                   | 過年度修正額            | 10,239,500        | 10,239,500      | 0              |
| 特別支出計         |                   | ( 10,239,500 )    | ( 10,240,092 )    | (△ 592)         |                |
| 特別収支差額        |                   | (△ 9,789,200)     | (△ 3,562,245)     | (△ 6,226,955)   |                |
| 〔予 備 費〕       |                   | ( 0 )             |                   | ( 5,000,000 )   |                |
| 基本金組入前当年度収支差額 |                   | (△ 105,522,720)   | ( 1,023,542 )     | (△ 106,546,262) |                |
| 基本金組入額合計      |                   | (△ 346,729,000)   | (△ 236,986,950)   | (△ 109,742,050) |                |
| 当年度収支差額       |                   | (△ 452,251,720)   | (△ 235,963,408)   | (△ 216,288,312) |                |
| 前年度繰越収支差額     |                   | (△ 2,054,724,715) | (△ 2,054,724,715) | ( 0 )           |                |
| 基本金 取崩額       |                   | ( 0 )             | ( 0 )             | ( 0 )           |                |
| 翌年度繰越収支差額     |                   | (△ 2,506,976,435) | (△ 2,290,688,123) | (△ 216,288,312) |                |
| (参考)          |                   |                   |                   |                 |                |
| 事業活動収入計       |                   | ( 2,786,724,000 ) | ( 2,785,113,725 ) | ( 1,610,275 )   |                |
| 事業活動支出計       |                   | ( 2,892,246,720 ) | ( 2,784,090,183 ) | ( 108,156,537 ) |                |

# 貸借対照表

令和5年 3月31日

学校法人 青洲学園  
(単位 円)

| 資 産 の 部     |                   |                   |                 |
|-------------|-------------------|-------------------|-----------------|
| 科 目         | 本 年 度 末           | 前 年 度 末           | 増 減             |
| 固定資産        | ( 4,873,973,221)  | ( 5,078,222,201)  | (△ 204,248,980) |
| 有形 固定 資産    | ( 4,822,605,221)  | ( 5,076,854,201)  | (△ 254,248,980) |
| 土 地         | 1,295,609,722     | 1,295,609,722     | 0               |
| 建 物         | 3,003,676,387     | 3,147,769,279     | △ 144,092,892   |
| 構 築 物       | 10,040,065        | 14,895,654        | △ 4,855,589     |
| 教育研究用機器備品   | 292,111,094       | 407,176,672       | △ 115,065,578   |
| 管理用機器備品     | 4,781,840         | 5,793,757         | △ 1,011,917     |
| 図 書         | 216,386,113       | 205,609,117       | 10,776,996      |
| 特 定 資 産     | ( 0)              | ( 0)              | ( 0)            |
| その他の固定資産    | ( 51,368,000)     | ( 1,368,000)      | ( 50,000,000)   |
| 差 入 保 証 金   | 1,368,000         | 1,368,000         | 0               |
| 長 期 性 預 金   | 50,000,000        | 0                 | 50,000,000      |
| 流動資産        | ( 729,270,845)    | ( 765,077,798)    | (△ 35,806,953)  |
| 現 金 預 金     | 698,483,727       | 743,643,857       | △ 45,160,130    |
| 未 収 入 金     | 25,904,369        | 20,847,231        | 5,057,138       |
| 前 払 金       | 4,191,090         | 205,590           | 3,985,500       |
| 立 替 金       | 191,659           | 381,120           | △ 189,461       |
| 仮 払 金       | 500,000           | 0                 | 500,000         |
| 資産の部合計      | ( 5,603,244,066)  | ( 5,843,299,999)  | (△ 240,055,933) |
| 負 債 の 部     |                   |                   |                 |
| 科 目         | 本 年 度 末           | 前 年 度 末           | 増 減             |
| 固定負債        | ( 849,475,738)    | ( 996,842,403)    | (△ 147,366,665) |
| 長 期 借 入 金   | 765,825,000       | 924,575,000       | △ 158,750,000   |
| 長 期 未 払 金   | 4,240,940         | 5,616,380         | △ 1,375,440     |
| 退職給与引当金     | 79,409,798        | 66,651,023        | 12,758,775      |
| 流動負債        | ( 803,133,280)    | ( 896,846,090)    | (△ 93,712,810)  |
| 短 期 借 入 金   | 158,750,000       | 165,000,000       | △ 6,250,000     |
| 未 払 金       | 104,796,604       | 111,171,258       | △ 6,374,654     |
| 前 受 金       | 494,145,000       | 567,270,000       | △ 73,125,000    |
| 預 り 金       | 45,441,676        | 53,404,832        | △ 7,963,156     |
| 負債の部合計      | ( 1,652,609,018)  | ( 1,893,688,493)  | (△ 241,079,475) |
| 純 資 産 の 部   |                   |                   |                 |
| 科 目         | 本 年 度 末           | 前 年 度 末           | 増 減             |
| 基本金         | ( 6,241,323,171)  | ( 6,004,336,221)  | ( 236,986,950)  |
| 第1号 基本金     | 6,081,323,171     | 5,844,336,221     | 236,986,950     |
| 第4号 基本金     | 160,000,000       | 160,000,000       | 0               |
| 繰越収支差額      | (△ 2,290,688,123) | (△ 2,054,724,715) | (△ 235,963,408) |
| 翌年度繰越収支差額   | △ 2,290,688,123   | △ 2,054,724,715   | △ 235,963,408   |
| 純資産の部合計     | ( 3,950,635,048)  | ( 3,949,611,506)  | ( 1,023,542)    |
| 負債及び純資産の部合計 | ( 5,603,244,066)  | ( 5,843,299,999)  | (△ 240,055,933) |

注記 1. 重要な会計方針

(1) 引当金計上基準

・徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見積額を計算し、徴収不能引当金として計上している。

・退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額130,315,600円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

2,094,058,770円

4. 徴収不能引当金の合計額

0円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

該当なし

6. 翌年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額:

835,340,820円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第4号基本金に相当する資産を有しており該当しない